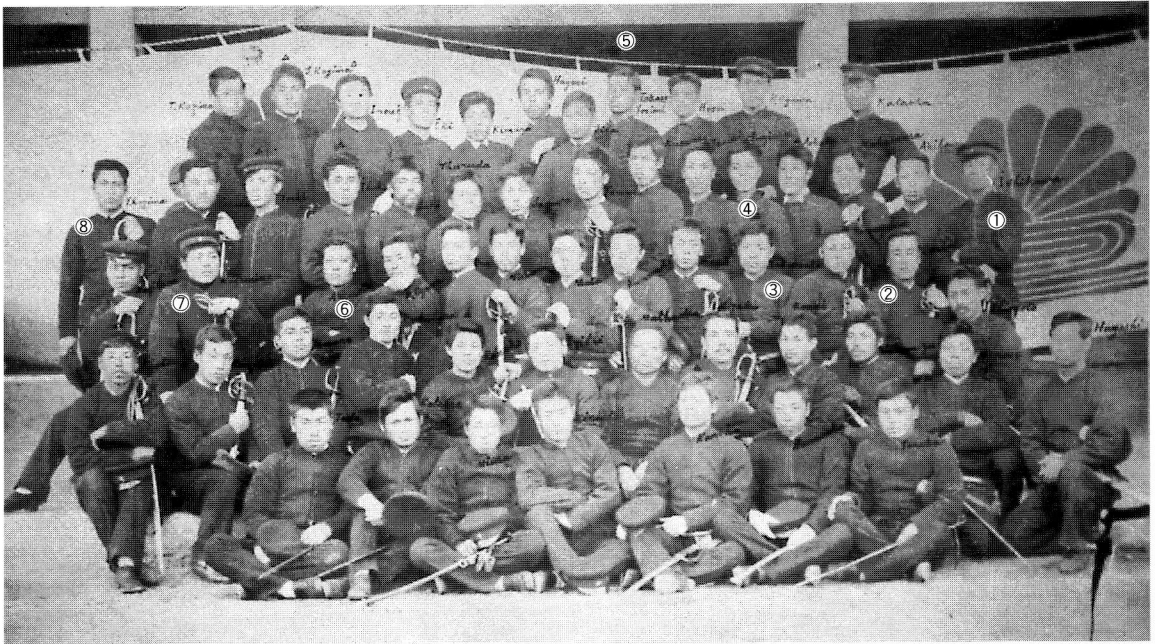


沼津市

明治史料館通信

2000. 4. 25 (季刊 年4回発行) Vol. 16 No. 1 通巻第61号



明治10年(1877)の陸軍士官学校第1期士官生徒
(永嶺年子氏提供)

沼津兵学校第9期資業生出身・陸軍砲兵大佐永嶺源吉の子孫宅に残されていた写真。陸軍士官学校第1期士官生徒151名のうちの58名が写っているらしい。彼らは、明治9年来日した第2次フランス軍事顧問団のルイ・クレットマン工兵大尉の指導を受けた特殊兵科生であることが、横浜開港資料館企画展示「フランス士官が見た明治のニッポン-L. クレットマン・コレクションから」(2000年2月~4月)に同じ写真が出品されたことから判明した。

アルファベットで記入された苗字から判断し、数字の人物は沼津兵学校出身者と推測される。①石川義仙、②仙波種艶、③竹内有好、④杉浦勝之、⑤吉見精、⑥秋元盛之、⑦永嶺源吉、⑧小島好問

シリーズ

沼津兵学校とその人材
沼津兵学校から
教導団への編入者

57

沼津兵学校は廃藩の後、静岡藩

から政府へと移管され、沼津出張

兵学寮となった。そして明治五年

(一八七二)五月にはそれも廃校

となり、最後まで残留していた資

業生六十三名は上京を命じられ、

教導団工兵生徒に編入されること

になった。最盛期には二百十余名

いたはずの資業生は、中途退学な

どによりこの時点では三分の一以

下にまで減少していたのである。

生徒減少の具体的経過は不明だ

が、退学のいきさつがはっきり判

明している人物もいる。たとえば

永峰秀樹・中川将行・矢吹秀一の

三名は、退学届を出したがなかな

か受理されないで、勝海舟に直

訴して「海舟日記」明治4・7・

13)、ようやく許可を得、上京する

ことに成功した。学校当局は生徒

間の動揺を抑えるため退学を認め

ない方針だったらしいが(永峰『思

出之まゝ』)、永峰らは、「学校の教

師は、新政府に引抜かれては往つて

しまふ、而して生徒の發展を許さぬといふのは片手落ちだ（永峰「腐れ行く幕府」『漫談明治初年』所収）という論法で抵抗したらしい。つまり、優秀な人材はほとんどん東京へ去ってしまったのに、自分たちだけが取り残されてしまうという危機感に迫られていたのだ。石橋絢彦・山口圭三・永井当昌・武蔵吉彰・武藤孝長ら他の資業生も、明治四年九月から十一月にかけて、上京修学の費用をねだったり、身分の変更を懇願するために勝を訪問している（『海舟日記』）。このように教授・生徒が次々に去っていくという、騒然とした雰囲気の中、生徒数を急激に減らした沼津兵学校は終末を迎えたのである。

最後まで残った資業生六十三名は、馬鹿正直だったのかもしれない。彼らが東京で自動的に編入された教導団とは、下士官を養成するための陸軍の教育機関であり、士官（将校）になることを目指していた沼津兵学校出身者にとつて、屈辱的ともいえる降格待遇であった。また、兵営内での規則づくめの日常は、比較的自由な生活を送って



大川通久
(大川幸作氏提供)

いた沼津時代とは雲泥の差であり、苦痛そのものであった。教導団編入者の間からは上京早々に退団への動きが始まる。その頃の教導団生徒の不平不満ぶりについては、沼津の第二期資業生だった大川通久が父親に宛てた書簡が生き生きと伝えてくれる（樋口雄彦「生徒の手紙が語る沼津兵学校のあとさき」）。ある沼津兵学校出身者（菅野致敬?）の回想によると、「学科は新しいし、若手はドシ／＼出世をす。以前教へた奴が教官などといふいろ／＼こみ入つた不平等から、教導団を逃げ出したという（『最初の兵学校』『漫談明治初年』）。しかし退団は簡単ではなかったらしく、岩間清（沼津六期）は、自ら一指を切断し、生徒を免じられたという。大川通久他七名が連名で提出した退団願が残されていたので、左に紹介してみる（大川幸作氏所蔵）。



仙波種艶
(仙波昌枝氏寄贈)

私共儀、今般從教導団工兵生徒無級專業生被命、難有仕合ニ奉存候、然る処、各身体虚弱、或は痛所其外ニテ素より壯健之者共ニ無御座候間、御規則之通學術之一科修業相願候儀は勿論、仮令ヒ蒙 令命候共憤発勉強仕、學術相学候儀は難相成、自然為疾病被妨、無扨日課を怠り御規則を破り專業之名ニ相悖り候は必然之事ニ有之候、依之私共後來成業之見込は更ニ無御座候間、莫大之 官費を以御教育被成下候段、実以恐懼之至ニ奉存候、何卒右実情御洞察被下置、出格之□□御寛典を以、私共一同退寮被命候様、偏ニ奉願候、以上
八月十六日
大川千作
箕輪台三
石川鉦太郎
三浦松三郎
本多鉄三
伊庭惣造

なお、教導団で最後まで頑張り陸軍軍人としての道を歩んだ者は二十数名にとどまったが、佐官級に進んだり、後に陸軍士官学校に入學した者もいた。とはいえ、将官にまでなったのは古川宣誉（中将）と早川省義・渡瀬昌邦（少将）の三名だけである。軍籍を離れた者でも何人かは教育界や実業界で活躍しているが、全体として、やはり六十三名には不遇に終わった者が多かったといえようか。

教導団には編入されず、それ以前に静岡藩代表として沼津から大阪兵学寮の幼年学舎に送られた五名（加藤泰久・村田惇・小島好間・栗山勝三・竹内有好）からは中将・少将が四名も輩出している。

沼津兵学校出身の陸軍軍人には、さらに別のコースをたどった者も少なくない。たとえば年少だった



渡瀬昌邦
(渡瀬雅子氏寄贈)

陸軍教導団に編入された沼津兵学校資業生63名のその後

資業生	氏名	明治5年	上京時	その後の軍歴・経歴	最終階級
第2期	江間 経治	25歳	曹長	少尉心得(明治5) - 少尉(明治6) - 中尉(明治7) - - - - -	工兵中佐
	成沢 知行		中尉勤務	少尉心得(明治5) - 少尉(明治6) - 中尉(明治6) - 大尉(明治10) - - - (明治12中尉) - - - - -	工兵中佐
同	高松 寛剛	26歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治6) - 少尉(明治6) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵少佐
	渡辺 当次			無級専業生(明治5) - 退寮(明治5)、大蔵・内務省等測量技師 - - - - -	工兵少佐
同	大川 通久	23歳	少尉勤務	少尉心得(明治5) - 少尉(明治6) - 中尉(明治6) - 大尉(明治11) - - - - -	陸軍中將
	仙波 宣誉		大尉勤務	少尉試補 - 少尉(明治7) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵少佐
第3期	坂本 英延	28歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治6) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	入江 倫愛		輻重掛	曹長 - 少尉試補(明治6) - 中尉(明治10) - - - - - (明治8大蔵省検査寮十三等出仕) - - - - -	工兵中佐
同	石川 春明	20歳	宿割掛	曹長 - 少尉試補(明治6) - 少尉(明治6) - 中尉(明治10) - - - - -	陸軍少將
	本多 鉄三		伍長	曹長 - 少尉試補(明治6) - 少尉(明治6) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	中島 豊蔵	21歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治7) - 少尉(明治9) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	早川 省義			曹長 - 少尉試補(明治7) - 少尉(明治9) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵大尉
第4期	早川 省義	28歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治11) - - - - -	工兵中佐
	早川 省義			曹長 - 少尉試補(明治11) - - - - -	工兵中佐
同	渡辺 英興	27歳	宿割掛	横濱駅長助役 - - - - -	工兵中佐
	大塚 庸俊			毎日新聞記者 - - - - -	工兵中佐
同	大塚 庸俊	27歳	輻重掛	報知新聞記者 - - - - -	工兵中佐
	亀岡 為定			報知新聞記者 - - - - - (明治10陸軍会計軍吏補) - - - - -	工兵中佐
同	三浦松三郎	22歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	大岡 忠良			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	岡 敬孝	22歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	岡 敬孝			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	堤 永類	26歳	宿割掛	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	鈴木 守			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	笹瀬 元明	28歳	宿割掛	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	箕輪 信文			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	伊庭 真	26歳	輻重掛	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	伊藤 直温			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	神津道太郎	28歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	神津道太郎			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
第5期	愛知 信元	19歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	喜多山正誼			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
第6期	海津 三雄	24歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	内藤 恒徳			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	横地 重直	18歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	加藤 義質			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	中川 喜重	19歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	末吉 沢郎			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	小坂 忠重	21歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	柳瀬 友生			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	岩間 清	20歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	赤井 親善			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
第7期	渡瀬 昌邦	19歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	渡瀬 昌邦			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	近藤 政敏	20歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	小川 信			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	辻 芳太郎	20歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	松山 温徳			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	堀江 敬慎	20歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	宮川 保全			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	間宮 信勝	18歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	近藤 義尚			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	松井 惟利	24歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	田原 高雄			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
第8期	和多直正	24歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	和多直正			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	川口米五郎	24歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	小林 百之			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	堀江 当三	24歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	鈴木釜三郎			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	近藤藤次郎	24歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	中村 正寿			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
第9期	中村 正寿	24歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	木村 才蔵			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	伊藤 泰明	24歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	小田新太郎			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	野口 保三	24歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	石川 敬之			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
同	奥沢 信行	24歳	伍長	曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐
	関戸 孝			曹長 - 少尉試補(明治8) - 少尉(明治8) - 中尉(明治10) - - - - -	工兵中佐

石橋絢彦「沼津兵学校沿革(七)」(『同方会誌』44)、『陸軍省日誌』その他より作成

八名は陸軍兵学寮（東京）の幼年学校に入っており、うち永嶺源吉ら七名が士官学校に進んだ。

沼津兵学校出身者には幾つもの岐路があり、陸軍軍人になった者の中にもその出世ぶりに違いが生まれた。しかし、その違いも薩長出身者の栄達ぶりと比較した場合には、さしたる差はなかった。

お知らせ欄

◎ビデオ「撮影された戦時下の沼津高等女学校」の制作

館ロビーで放映しているビデオに新作が加わりました。昭和十二年から十六年にかけて撮影された沼津高等女学校の映像で、原版は静岡県立沼津西高等学校に保存されていた貴重な十六ミリフィルムです。解説のナレーションを付け、約十分の作品に仕上げました。内容は、体育大会のようす、富士登山のようす、奉安殿の除幕式、集団労働奉仕作業のようす、応召する教員の壮行会などです。

◎沼津市明治史料館史料目録25、

26の刊行について

左記の通り、当館で所蔵・保管

する文書資料の目録を刊行いたしました。史料の検索手段としてご利用下さい。

史料目録25獅子浜植松家・多比渡辺家文書目録。B5版、一八〇頁。頒価一〇〇〇円。津元・名主をつとめた旧家の近世・近代の文書約二千二百点など。

史料目録26口野足立家文書目録。

B5版、四五四頁。頒価一五〇〇円。津元・名主の家に残された近世・近代の漁村文書約一万五千点。書籍・書面類も多数含む。

◎沼津市博物館紀要24の刊行

体裁…B5版、六六頁
頒価…五〇〇円
内容…樋口雄彦「旧幕臣・静岡県出身者の同郷・親睦団体」、瀬川裕市郎・増島淳「土器の胎土分析から見た土器の流入」

◎ホームページの開設

沼津市役所のホームページの中に当館のホームページが開設されました。各種情報をご覧いただけます。アドレスは左記の通り。

http://www.city.numazu.shizuoka.jp/sisetu/meiji/index.htm

jp/sisetu/meiji/index.htm

◎ゴールデンウィーク中の開館

4月28日(金)、5月1日(月)、5月8日(月)以外は開館していません。

◎5月19日は無料開館日

5月19日(金)は江原素六先生記念公園で記念祭が開催されます。当館展示室も無料になります。

◎7月1日は無料開館日

沼津市の市制記念日・7月1日(土)は、無料開館します。

◎平成11年度の主な受贈資料

岳陽少年団関係資料(小野安正様・辻真澄様・渡辺幸信様・長谷川博一様・安原吉基様・高島栄一様・津田和雄様・加藤善夫様・那波廣巳様)、沼津俳人短冊(長倉秀直様)、静岡街尽し(川村清衛様)、川村清雄油絵等(羽山正一様)、旧幕臣桑山家文書(桑山伊佐子様)、沼津兵学校教授名和謙次履歴書等(名和和彦様)、沼津兵学校附属小学校生徒小田川全之葉書(小田川清様)など。

◎平成11年度の主な受託資料

大平原家文書(原安平様)

◎平成11年度館蔵資料の出版物へ

の写真・資料提供

『歴史読本』第44巻第11号、秋庭隆著『東海道史話』静岡新聞社

『新聞に見る静岡県の一〇〇年』、『広重と歩こう東海道五十三次』(小学館)、『東海道五十三次を歩く②』(講談社)

◎平成11年度館蔵資料の展示・放送用貸出・提供先

沼津史談会「目で見る後北条五代展」
「街角の文化財展」、静岡平和資料センター「静岡県下の空襲(Ⅰ)展」、相模原市立博物館「描かれた農耕の世界」展、静岡第一テレビ・ニュースプラス1しずおか「東海道宿場めぐり」、原駅開業百周年記念展

◎館職員の人事異動について

4月1日付の人事異動により、当館館長大川雅夫(兼教育委員会事務局参事)が歴史民俗資料館館長を兼務することになりました。また、副参事補石内進は退職いたしました。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

沼津市明治史料館通信 第61号

編集 沼津市明治史料館

発行

〒410-0051 沼津市西熊堂三七二一

電話 ○五五九一三三三三五

FAX ○五五九一五三〇一八